

なかだの未来のために



栗田 伸一 さん
NPO法人なかだ倶楽部理事長

上中田地区出身。1976年生まれの39歳。高校教員・銀行員等を経て現在に至る。陸上ハードル競技の第一人者として学生時代は東北学生王者にも輝いた実績を持つ。

現在は、ノルディックウォーキングや陸上教室等講師としても幅広い活動を行っている。

「なかだ倶楽部」誕生！

6人を中心とした活動は、徐々に地域の理解が得られるようになっていきました。平成27年4月、NPO法人「なかだ倶楽部」を結成。栗田伸一さんを理事長として各地区の区長さん方も正会員に加入。中田地域の活性化のための一歩を踏み出しました。「地域が元氣な姿をアピールしていこう！」

施設管理 小規模林業・地域交流 3つの柱を軸に活動

なかだ倶楽部の主な活動には3つの柱があります。
1つは、施設の管理です。旧小学校校舎敷地内の草刈り、花壇の花植え、校舎内の清掃や空気の入れ替えなどを地域移住民で交替しながら施設を維持していきます。愛着がある建物だけ



明治8年に創立した旧中田小学校。以来、138年の歴史に幕を閉じたのが2年前の平成26年3月のことでした。中田地域は、下中田、上中田、小蟬、杉沢、外沢の5地区で構成されていて、2月末の5地区合せた人口は296人。今も人口減少の波は止まっています。

なかだ地域の未来はどうなっていくのでしょうか？NPO法人なかだ倶楽部（栗田伸一理事長）にお話を聞きました。

中田が好きだから。人と地域の魅力を発信したい！

地域のために何かできないか

中田地域の拠点として拠り所だった「学校」。廃校は地域にとつて、残念な出来事でした。行事が無くなり、住民同士が顔を合わせる機会が減ることで寂しさを感じていた方々が多くいたと聞いています。

その後、町と地域が話し合いの場を持ち、「利活用検討委員会」が開かれるようになったのが平成26年4月です。広い敷地、校舎はまだまだ耐久性十分。「地域のためになる何か活用方法がないか」と地域で模索していました。

中田まつりにヒント

「まずは地域のまつりをやってみるか！立ち上がったのは、中田地域に住む30代の男性有志6人です。」



長は、「地域内に才能のある方々がたくさんいるのに、地域性からか表に出たがらない人が多い。発揮する場をもっと増やしていければいい。また、今後は倶楽部の活動に興味の無い方にどう理解してもらい一緒に楽しんで活動できるかが課題」

今悩んでいることは「どうしても資金面にも課題が。町の支援はありがたいが、校舎などの維持費が主たるもので、協力や応援してくれ方々の会費が今後の活動のあり方を模索中です。持続可能な団体として成長していく意味でも賛助会員数の増加が不可欠です。賛助会費は一口3,000円となっています。」

中田をにぎやかにしたい！

最後に栗田理事長は、「とにかく中田をにぎやかにしたい！たくさんの方に訪れてもらい、中田に住んでいる方々に喜んでもらったり、魅力を発見してほしいです」と熱い思いを語っていました。



地域おこし協力隊 大塚省吾さん

夏に開催した中田地域の公民館大会で小規模林業をやりたいと提案し、賛同を得た3人でまずは週末活動しています。

週末に小規模林業で活路

9月から12月にかけての4か月間、週末に集まって活動しました。杉沢の片桐久志区長さんの山林で主に間伐作業を行い、搬出した材を「もがみ薪ステーション」に軽トラックで運搬しました。ここに持つていくと「美杉ちゃん商品券」と交換できます。針葉樹1台分が2,500円、広葉樹1台分が5,000円分もらえます。3ヶ月間で15台分47,000円分の美杉ちゃん券と交換。活動に必需品でもあるチェーンソーの購入代金に充てました。人手不足と資金不足が今の課題です。

来年度は活動の輪を広げる意味でも町外の方々を呼び込むイベントを実施し交流の輪を広げたいです。



なかだ倶楽部で活動してみませんか？

中田地域を拠点にイベントや地域活動などに参加を希望する方や応援する方を歓迎します。

図なかだ倶楽部 栗田理事長
☎52-7147